

STOP!!伊方原発高松集会ー原発のない未来のためにー 賛同団体、ご協力をお願い

昨年8月12日に、伊方原発3号機が多くの反対を無視して5年3ヶ月ぶりに再稼働されました。直前には熊本・大分群発地震もあり、これに関連する大地震発生も懸念されている中での暴挙でした。この地震は予想されていなかった地域での巨大な地震であったにもかかわらず、四国電力は伊方発電所の運転には「問題がない」と再稼働を強行したのです。

伊方原発は、中央構造線の直上近くに位置するだけでなく、南海トラフ地震の震源域にも入っており「日本で一番危険な原発」と安全審査をした原子力規制委の元委員長代理が「見直し」をすべきと警告しています。

また伊方原発は佐田岬半島という日本一細長い半島の付け根にあつて、原発の奥には5000人近くの人が住んでおり、一度原発で事故が起きれば逃げることができません。誰かを犠牲にすることでしか成り立たない「便利さ」を享受するなどということが許されるはずがありません。

福島原発事故から6年以上が過ぎましたが、人間は事故を起こした原子炉に近づくことすらできず、情報収集するためのロボットも苛烈な放射能環境のために全く役に立たない状況です。通常子どもの甲状腺がんは年間100万人に0～3人とされていますが、福島では甲状腺癌とその疑いのある子どもが38万人の調査に対して6年間で184人も発見され、今後も増加が懸念されています。このように明白な事実があるにもかかわらず、政府と電力会社は「原発事故との関連は認められない」と発表し、事故による放射能の影響を無視し続けています。事故後6年余が経過した現在では、事故被害を厳密に証明できないのをいい事に、政府や電力会社は被害を過少に評価し、あわよくば、「無かったこと」にしようとしています。放射能による健康被害は、細胞分裂が活発な子供程その被害を強く受けるということは、チェルノブイリ原発の事故が既に証明済みです。

被曝は住民だけの問題ではありません。事故処理のために働く労働者にも放射能は襲い掛かりますし、これらのことは決して原発立地自治体だけの問題ではありません。放射能は風に乗って広がり、日本全土、地球全域に悪影響を与えます。福島原発事故でも原発から200km以上離れた東京や千葉まで放射能は降り注ぎ、さらに遠く離れた静岡の茶葉さえ出荷できなくなりました。大飯原発の再稼働差し止めを命じた福井地裁判決でも250km圏内の住民は運転差し止めを求めることができるようになりました。

このように、一度事故が起これば安全なところはありません。私たち電力消費者には良好な地球環境を、次の世代に引き継ぐ大きな責任があります。今を生きる私たちこそが原発を止めるために大きな声を上げるべきではないでしょうか。プレートの沈み込み帯に位置するわが国では、福島原発の原因となったような巨大な地震が起きる可能性が常にあります。国内全ての原発は稼働を許さず、速やかな廃炉を求めなければなりません。

四国電力伊方原発3号機は10月に定期点検のため運転停止します。これを二度と動かさないように、四国電力本店のある高松で、“原発NO!”の大きな声をあげるべく計画をしています。

1988年に高松では、伊方原発3号機の出力調整実験に反対する全国の労働者、市民が四国電力本店前に集まり、その数は5000人とも10000人とも言われました。出力調整実験は強行されましたが、その後二度と行うことができないほどの大きな力を電力資本に見せつけることとなりました。この時の力をもう一度四国電力にぶつけたいと思います。

定期点検で停止する伊方原発を再び動かさないために、ご協力をお願いいたします。

なお、10月21～22日には再稼働阻止全国ネットワークの呼びかけによる、全国相談会の高松会合が行われます。また23日には対四国電力交渉及び門前行動も計画中です。こちらにもぜひご参加いただければと思います。

STOP!伊方原発高松集会

2017年10月21日（土）

第1部 13時から 第2部 14時から 15時からデモ行進

場所 香川県高松市 JR高松駅前広場（予定）

ご賛同いただける団体はご連絡ください。

kyoudoukoudou@gmail.com 090-8698-2114 (FAX) 087-862-7227

<https://kyoudoukoudou.wixsite.com/ikatahairou>

カンパもよろしくおねがいいたします。

口座名 香川市民運動ネットワーク ゆうちょ銀行間は 16380 17889061
他銀行からは 638 1788906

呼びかけ団体 脱原発アクションin香川 原発さよなら四国ネットワーク
グリーン市民ネットワーク高知 脱原発市民ネットワーク徳島